

教育委員会だより

この春、新しく大豊町内の学校に赴任された教職員の方々を紹介し、保護者や地域の皆様のご支援とご協力をお願いします。



おおとよ小 武市 親典 校長先生
初任のころ、お世話になった学校の窓から、変わらぬ風景と思い出を懐かしんでいます。保護者の方、地域・行政の方、そして本校の教職員の「チームおおとよ」で、子どもたちの未来を育む学校づくりに努めてまいります。なにとぞ、お力添えをお願いいたします。



おおとよ小 沼 久美子 先生
山や川、きれいな桜などの豊かな自然と、たくさん子どもたちの笑顔があふれるおおとよ小学校で働けることを嬉しく思います。子どもたちの成長のためにできることを精いっぱい頑張っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



おおとよ小 中峰 亜希子 先生
通勤の道すがら、右に左に桜の花が目を楽しませてくれています。日に日に満開になっていく桜とともに、私もこちらでの生活が楽しみになりました。おおとよ小学校教師1年生として、学級の子どもたちと一緒に笑って泣いて成長していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。



おおとよ小 中澤 美先 先生 栄養教諭
今年度、栄養教諭で採用になりました中澤美先と申します。自然豊かな大豊町の食材をたくさん使った、安心安全でおいしい給食を作っていきたいと考えております。おいしい野菜ができましたら、ぜひお知らせください。どうぞよろしくお願いいたします。



おおとよ小 武田 崇子 先生
職場が、5年間勤務した教育委員会から、おおとよ小学校に変わりました。教育委員会の時には、地域の皆さんに大変お世話になり、本当にありがとうございました。おおとよ小学校が開校して3年目。大杉さんに見守られて、76人のキラキラした大豊の子どもたちと楽しい学校生活を送っています。



大豊町中 畠中 美保 先生
四万十市蕨岡中学校から異動してきました畠中美保です。教科は音楽です。校舎から見える川の流れの迫力に毎日圧倒されています。これからよろしくお願いいたします。



大豊町中 藤澤 和代 先生
このたびの異動で栲原中学校から赴任してきました。家庭科を担当します。大きな岩を青い河を眺めながら、毎日ワクワクして通勤しています。大豊町のことをたくさん知り、子どもたちと一緒に成長していきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。



大豊町中 近藤 啓司 先生
はじめまして。社会科を担当させていただきます。近藤啓司です。たくさんことを学び、皆さんと成長していきたいと思ひます。スポーツも好きです。部活や行事などでもたくさん体を動かして頑張りたいです。よろしくお願いいたします。



大豊町中 島本 茜 事務職員
今年度から採用になりました、事務職員の島本茜です。初めての事務職で右も左も分からないような状態ですが、一日でも早く仕事を覚え、生徒さんとも積極的に関わっていただけると良いと考えています。これからよろしくお願いいたします。



平成28年度 大豊町小・中学校 児童・生徒数

| | | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 5年生 | 6年生 | 小計 |
|---------|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| おおとよ小学校 | 男 | 11 | 8 | 4 | 7 | 4 | 5 | 39 |
| | 女 | 6 | 5 | 6 | 7 | 3 | 10 | 37 |
| | 計 | 17 | 13 | 10 | 14 | 7 | 15 | 76 |

| | | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 小計 |
|--------|---|-----|-----|-----|----|
| 大豊町中学校 | 男 | 7 | 8 | 6 | 21 |
| | 女 | 5 | 6 | 8 | 19 |
| | 計 | 12 | 14 | 14 | 40 |

町内児童・生徒数合計 116

地域おこし協力隊 集落支援員 がゆく!

Vol.1

「大豊町に移住してきて…」

大豊町の地域おこし協力隊として移住してきて、この4月で2年になりました。大豊町で西峰地域担当として西峰地域を中心に活動してきました。

最初の1年は、“ここがどのような地域で、自分に何ができるのか?”と考へ、地域の方々からいろいろなことを教わりながら過ごす日々が続き、地域に馴染むことで、月日が過ぎました。

2年目は、“集落活動センター西峰”の立ち上げに携わりながら、大豊町内の行事やイベントなどにも多く呼んでもらえるようになり、活動の場が増えてきました。

また、地域おこし協力隊の活動以外でも、NPO法人元氣おおとよのメンバーとして、嶺北地域でのイベントや、大豊町の空き家調査、移住者と地域住民の交流会などに参加させていただき、たくさんの方々を知り合うことで、充実した日々が送れたように思ひます。



そして、地域おこし協力隊として、残り1年になり、“大豊町で自分がやりたかったことと、何ができるか?”もう一度思い返し、考へて、活動していきたい。また、定住についても考へていこうとも思ひています。移住してきて、いろいろな方々と知り合い、お世話になったままで、終わってしまうのではなく、大豊町の地域おこし協力隊として移住してきて、定住をして、お世話になった方々に恩返しのことができればと考えています。そこで、皆さんにお願ひがあります!“大豊町内の、空き家、空き店舗、空き倉庫や施設、その他、農機具や、活用されていない地域資源などの情報がありましたら教えてください!”自分にできる地域おこしに使わせてください、お願ひします。



プロジェクト推進室 地域おこし協力隊 山崎 賢成